

つるおか

市議会

平成29年

6月定例会号
●H29.8.1 発行

Vol.50

だより

初夏の味覚を堪能

6月25日、櫛引さくらんぼまつりが開催されました。農園でのさくらんぼ狩りのほか、産直めぐりではクイズ大会なども行われ、多くの家族連れらで賑わいました。参加者は、真っ赤に色づいたさくらんぼを口いっぱい頬張り、初夏の味覚を堪能していました。

6月定例会の概要 P 2
総括質問 P 5
委員会審査 P 7
一般質問 P 9
市議会モニター会議 P 15

議会の概要

平成29年度補正予算を可決
条例の一部改正等
18件を審議

6月定例会は、6月13日に開会し、市当局が17件の議案を提出しました。請願1件については、所管の常任委員会に付託しました。

上程された議案・請願は、総括質問、委員会審査などの後、それぞれ審議し、18日間の会期を経て、6月30日に閉会しました。

(議案・請願の内容と審議結果は下記及び次頁)

市当局が議案を提出 4人が総括質問

開会初日は、市当局が報告3件、予算議案2件、条例議案4件、事件議案8件の計17件の議案を提出し、各会派を代表して4人の議員が総括質問を行いました。

(総括質問の内容は5～6頁)

上程された議案は、報告は了承し、予算議案は予算特別委員会に、条例及び事件議案は、所管の常任委員会に付託しました。

予算特別委員会を開催 各分科会に分割付託

同日、本会議終了後に、議員全員による予算特別委員会を開催しました。付託された予算議案2件についての提案説明が行

われ、各分科会に分割付託しました。

21人が一般質問

15日、16日、19日の3日間、市当局に対して一般質問を行い、21人の議員が市政全般について質問を行いました。

(一般質問の内容は9～15頁)

6月定例会日程

13日	本会議(総括質問) 予算特別委員会
15・16・19日	本会議(一般質問)
20～23日	常任委員会
29日	本会議 予算特別委員会
30日	本会議



各常任委員会を開催 条例・予算議案等を審査

20日に総務、21日に市民文教、22日に厚生、23日に産業建設の各常任委員会を開催しました。

常任委員会では、付託された条例及び事件議案の審査を行い、引き続き、予算特別委員会分科会として、予算議案の審査を行いました。

(委員会審査の内容は7頁)
また、総務常任委員会では、付託されていた請願の審査を行いました。

請願1件を不採択

予算特別委員会で分科会報告

29日の本会議では、請願第3

号について、総務常任委員長が請願審査の報告を行い、討論の後、表決の結果、賛成少数で不採択としました。

本会議終了後に開催した予算特別委員会では、各分科会委員長が、予算議案の審査報告を行い、討論の後、表決の結果、賛成多数で承認及び可決しました。

条例・事件・予算議案を 賛成多数で承認及び可決

議会最終日の30日、各常任委員長が条例及び事件議案、予算特別委員長が予算議案についての審査報告を行い、討論の後、表決の結果、議第38号から議第51号までの14件を賛成多数で承認及び可決しました。

全国市議会議長会表彰

全国市議会議長会による永年在職議員の表彰状の贈呈があり、議場において伝達を行いました。

在職10年以上表彰

本間 信一 議員

▼市長提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
報第1号	平成28年度鶴岡市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について		
報第2号	平成28年度鶴岡市水道事業会計予算繰越計算書の報告について		
報第3号	平成28年度鶴岡市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について		

▼市長提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第38号	平成28年度鶴岡市一般会計補正予算（専決第2号）の専決処分の承認について	予算特別	承認 (賛成多数)
議第39号	平成29年度鶴岡市一般会計補正予算（第1号）	予算特別	
議第40号	鶴岡市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について 育児休業の再取得等を行うことができる特別の事情として、保育所等の利用を申し込んでいるが当面その実施が行われないことを追加するもの	総務	
議第41号	鶴岡市文化会館改築工事請負契約の一部変更について 契約金額を78億8,400万円から84億8,621万7,720円に変更するもの	総務	
議第42号	財産の取得について ゲレンデ整備車を取得するもの	総務	
議第43号	財産の取得について 災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車を取得するもの	総務	
議第44号	財産の取得について 新文化会館で使用する舞台大道具備品等を取得するもの	総務	
議第45号	損害賠償の額の決定について 平成29年2月13日、市所有自動車の運行によって発生した交通事故に基づき生じた損害の賠償を行うもの	総務	
議第46号	鶴岡市立学校設置条例の一部改正について (1)栄小学校を京田小学校に編入するもの (2)長沼小学校を藤島小学校に編入するもの (3)羽黒第一小学校を羽黒第二小学校に編入し、校名を羽黒小学校に変更するもの (4)施行期日は平成30年4月1日とするもの	市民文教	可決 (賛成多数)
議第47号	鶴岡市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の一部改正について 介護保険法施行規則の一部改正により主任介護支援専門員の定義が改められたことから、条例の該当箇所について改正するもの	厚生	
議第48号	鶴岡市集落排水処理施設条例等の一部改正について 羽黒中央地区農業集落排水処理施設に羽黒西部浄化センターを統合することに伴い、関連する条例の改正を行うもの	産業建設	
議第49号	財産の無償貸付けについて 旧鶴岡市コミュニティプラザ（セントル）の土地、建物等を鶴岡銀座商店街振興組合に無償で貸付けするもの	産業建設	
議第50号	市道路線の認定及び廃止について 西沼4号線ほか9路線を市道路線として認定するとともに、小国5号線ほか2路線を廃止するもの	産業建設	
議第51号	損害賠償の額の決定について 平成29年3月17日、市道側溝グレーチングに接触して発生した車両損壊事故に基づき生じた損害の賠償を行うもの	産業建設	

▼請願と審議結果

請願番号	請願件名	付託委員会	審議結果
請願第3号	治安維持法による犠牲者救済に関する請願	総務	不採択 (賛成少数)

6月定例会のポイント

◆4月28日に、鶴岡市が提案した「サムライゆかりのシルク 日本近代化の原風景に出会うまち鶴岡へ」が日本遺産に認定されたことを受け、松ヶ岡開墾場の今後の展望等について多くの議員が質問しました。

◆食文化情報発信拠点施設となる「つるおか食文化市場FOODEVER（フーデヴァー）」がオープンすることもあり、食文化に関する質問が多く出ました。

◆先端研究産業支援センター拡張事業、松ヶ岡地域振興事業などを含む一般会計補正予算の審議を行い、可決しました。先端研究産業支援センターに新たに整備される動物実験施設等について、市当局から説明を受けました。

(討論の内容は8頁)



7月1日にオープンしたFOODEVER（フーデヴァー）

◆小学校3校の統廃合に関する、鶴岡市立学校設置条例の一部改正を可決しました。(平成30年4月1日施行)

- ・栄小学校を京田小学校に編入
- ・長沼小学校を藤島小学校に編入
- ・羽黒第一小学校を羽黒第二小学校に編入し、校名を羽黒小学校に変更

(委員会審査の内容は7頁)

▼市長提出議案と審議結果

議案番号	議案名	審議結果
議第36号	鶴岡市市税条例の一部改正について 地方税法等の一部改正に伴い、個人市民税、固定資産税、軽自動車税について所要の改正を行うもの	可決
議第37号	鶴岡市国民健康保険税条例の一部改正について 国民健康保険税の均等割額及び平等割額の減額措置に係る所得基準額の算定において被保険者等の数に乘すべき金額を引き上げるもの	可決

▼議員提出議案と審議結果

議案番号	議案名	結果
選第1号	庄内広域行政組合議会議員の補欠選挙 当選人 本間 信一 議員	指名推選

庄内広域行政組合議会議員

石井 清則 菅井 巖 中沢 洋 五十嵐 一彦 本間 信一
渋谷 耕一 神尾 幸

4月26日に臨時会を開催し、条例議案2件の審議を行いました。提案説明の後、質疑が行われ、表決の結果、全員賛成で可決しました。

4月臨時会の概要



重要事業 要望活動

市議会では、日沿道の整備促進や農林水産業基盤の整備促進等、市の重要事業の早期実現に向け、関係省庁等に対し、毎年、要望活動を実施しています。

5月29日に議長、副議長、産業建設常任委員長及び高速交通等対策特別委員長の一行が酒田河川国道事務所、東北地方整備局及び東北農政局に、6月6日には一行が市長とともに財務省、国交省及び議員会館を訪問し、幹部や県選出国会議員に対し、当市の現状を理解いただくとともに、地元を強く要望しました。

市議会では、今後も関係省庁等に対し働きかけを行い、要望事項の実現に取り組んでまいります。



財務省主計局幹部に要望事項を説明

総括質問

市長提出議案に対して
会派を代表して質問します

(執筆は質問をした議員本人です。)

新政
クラブ



久藤 久
議員

歴史的魅力や食文化を

未来にどう生かすか

議員 2つの日本遺産や、ユネスコに認められた食文化を、地域活性化にどう結びつけていくのか。

市長 2つの日本遺産認定は、本市の歴史的、文化的魅力を発信する好機と捉えている。食文化も、推進プランに基づき多くの市民を巻き込みながら、貴重な食文化の保存、伝承と合わせて、新しい食文化産業を生み育てることや、多様な食文化の学びと交流の推進につながる取り組みを実施していく。



日本遺産認定記者発表会

農産物輸出への支援と

農地分散解消をどうする

議員 農業所得の増大を目指すための販売力強化は最重要課題である。輸出促進への支援はどうするか。また、農地は集積とともに分散(※)の解消も必要と考えるが、その取り組みは。

市長 今年度は中国への輸出を見据え、商工会議所などと連携し、香港市場における農産物や加工品の市場調査を7月から実施する。農業者等による輸出促進のため、台湾での米市場調査や欧州への輸出の食品成分検査費用への補助等により支援していく。現在、農地集積率は78・8%と高いが、農地が分散し、非効率となっている。このため、今年度新たに「(仮)農地集約モデル事業」を実施する。

文化会館への附帯決議の取り組みは

議員 契約額の圧縮、維持管理費の抑制など、先の議会で求めた附帯決議にどう応えるか。

市長 工事の内容を精査した結果、当初見込んだ予算より2、500万円減額できた。完成後の活用方を市民と考える機会をつくるため、7月に市民懇談会、9月には市民向け内覧会を開催する。エントランスホールは催事のない日も

開放して誰でも立ち寄れる開かれた文化会館としたい。

市民
クラブ



小野 由夫
議員

文化会館建設の増額は

議員 平成26年10月の臨時会において、3度の入札不調と工事費の高騰による建設工事の遅延を理由に、市長はその責任をとり謝罪し、自らの給与の20%を減額した。この度の増額に対する市長の責任の対応は。

市長 市民の芸術文化など、活気に満ちた施設運用を軌道に乗せることが市長として果たす使命であり責任であると思う。また、10月の市長選挙に立候補することで、市民の理解を求め市長としての責任に対して努めていく。

文化会館管理運営費の根拠は

議員 年間管理運営費が、当初の1億円から1億4千万円になり、さらにこの度の説明では2億円とある。その根拠は。

市長 26年8月の臨時会において、他市の同規模施設などを参考に約1億円と見込んだ。その後、設計者からの試算とともに、管理運営実施計画に基づき積算したと

ころ、維持管理費が約1億4千万円であった。これに人件費と事業費を加え約2億円と積算した。

先端研究産業支援センターの

拡張事業は

議員 動物飼育施設整備の必要性について何う。また、動物実験内容に安全性の問題はないのか。

市長 機能性食品の開発、新たな治療薬の研究など、利用が想定される健康・医療分野においては、動物実験は必須であると認識している。衛生・安全面については、第一義的に入居者が負うべきものであり、入居者に対し法令遵守を徹底していきたい。



先端研究産業支援センター

※分散解消…農地が数か所に分散し、他人の耕地と混在している状態

日本共産党 鶴岡市議員



加藤 太一 議員

動物実験施設は 慶応先端研が建設すべきものでは

議員 動物の飼育実験室は、使用終了後の施設転用が困難と聞く。慶応先端研の使用が前提であれば、本来、慶応先端研が整備すべきでは。使用する動物、研究テーマ、安全対策は。

市長 現時点で、慶応先端研の入居が決まったものではない。審査により入居の可否を判断する従来のセンター利用のルールと同様である。使用動物はマウス、ラットを想定し、研究分野は、基礎研究の成果の検証、安全性の確認等の面で効果的な医療、健康関連の分野になる。安全性は法令遵守を徹底する。

学校統廃合は地域事情配慮を

議員 これまでの統廃合は、複式学級解消を基準として行われてきた。複式学級の一律否定は正しくないのでは。地域住民の声と地域性に配慮した対応も必要では。

教育長 文科省は「1学年1学級は統廃合の検討対象」だが、市は解消すべき基準を「複式学級」と

した。調整にあたっては、教育環境、地域に果たす役割、保護者、地域も含め検討を重ねてきた。アンケートによる統合後の課題・意見は学校運営に生かしたい。

文化会館建設問題から

くみ取る教訓は何か

議員 当初建設予定価格の2倍になったことへの市民の批判は強く、なぜ一度立ち止まって再検討できなかったのかという疑問も多い。建設費の増加と市民の批判も含めて、今後に生かすべき教訓は何か。

市長 建設費増額は、当初の概算工事費算出時期と建設物価が急激に上昇した時期とが重なったことが大きな要因である。今後は、建設物価の見極め・分析の精度を上げ、建設業者の技術力、提案力も生かしコスト低減策を講じていく。



羽黒第二小学校に編入する羽黒第一小学校

政友公明 クラブ



中沢 洋明 議員

世界から人が集まる観光戦略を

議員 政府は東京オリンピック・パラリンピックを見据え、訪日外国人旅行者数の目標を2020年までに4千万人と掲げている。本市には可能性に満ちた観光名所が数多くある。例えば羽黒山、善宝寺等をアメリカのアリゾナ州セドナのようにパワースポットとして海外に情報を発信すれば、世界中から人を呼び込むことができ、鶴岡・庄内だけで長期滞在する価値のある一流観光拠点になることができると思うが、市の見解は。

市長 本市では「ユネスコ認定の食文化」「日本遺産の出羽三山」「加茂水族館」「旧藩主の御当主がお住まいの真の城下町」を重点項目として、日本文化に関心が高く知的探究心旺盛な欧米諸国を重点ターゲットに定め、2020年には、外国人延べ宿泊者数4万人以上とする目標を掲げ、誘客に取り組んでいる。昨年11月には「食と農の景勝地」、本年4月には「サムライゆかりのシルク」の日本遺産認定も加わり、国際的な発信力が一層高まった。この評価の高まり



善宝寺を訪れた外国人観光客

市内高校に観光学科を

議員 観光業の地元人材養成のため、市内高校に観光学科の設置を検討すべきではないか。

市長 市内の高校で取り組めるのか検討を積み上げ、県教委等とも相談をさせていただきたい。また、東北公益文科大学では、公益学の中に観光学を取り入れる検討をした経過もあり、大学関係者に対しても情報提供等をしていきたい。

委員会審査

提出された議案を
それぞれ所管の委員会に
付託して審査します

(審査の主なものを掲載します。)

予算特別委員会 総務分科会

先端研究産業支援センター拡張事業に係る動物実験の必要性等

委員 この度の拡張整備は、動物実験施設とのことだが、動物実験の必要性をどのように捉えているのか。

政策企画課長 動物実験は、実際の反応のメカニズムを見たり、安全性を確かめる等、研究が実際に当てはまるかを見るうえで極めて有効な方法と認識している。

委員 動物実験施設に係る企業との覚書は、安心感を与える意味で、その内容を市民に知らせた方が良いと思うが、見解は。

政策企画課長 動物実験施設に関する覚書の公開は、企業や研究者にとって、研究の柱となる非常に重要な情報が対外的に出て良いのかという問題がある。その内容を知らせるかどうかは、諸般の事情を勘案し判断すべきと考えている。

松ヶ岡開墾場内の駐車場整備

委員 駐車場整備の内容は。

政策企画課長 この度の整備は、松ヶ岡開墾場敷地内の駐車場エリアで史跡外の部分である。現在、かなり傷んでいる舗装の改修のほ

か、駐車区画の割り付けも見直し、駐車台数を増やす予定である。また、蚕室群の方に向かって入ってくる際のアプローチがかなり狭くなっていることから、通路も拡幅し、歩きやすくなるよう整備を行うものである。



日本遺産構成文化財 松ヶ岡開墾場

市民文教常任委員会

新たな学校適正配置計画の策定は

委員 第2期学校適正配置基本計画では、平成28年5月をめどに次期適正配置計画を検討するとしていたが現状はどうなっているのか。学区再編対策室長 28年5月段階での児童数及び出生数等を基に検討した結果、次期学校適正配置計画は策定しないという判断をした。なお、2期計画に基づき、現在、

統合準備を進めている栄小、長沼小、羽黒一小以外にも2校で複式学級を編成しているが、この2校は今後児童数が増え、複式学級が解消する見込みである。

複式学級の評価は

委員 教育委員会では複式学級の評価をどのように捉えているのか。学区再編対策室長 きめ細かな対応ができるなどのメリットもあるが、例えば、体育や音楽の授業、グループでの学習等は、ある程度の児童数がいないと、より良い学習ができない、切磋琢磨しながらお互いを高め合うことが難しいなど、メリットよりもデメリットの方が大きいと考えている。

産業建設常任委員会

旧鶴岡市コミュニティプラザ(セントル)貸付け後の市の関わり方は

委員 貸付けを受ける団体では、貸館収入等を確保しながら建物の維持管理をしていくとのことだが、維持管理費負担の考え方、貸付け後の市の関わり方はどうなるのか。**商工課長** 旧セントルの維持管理には、光熱水費、管理人人件費、エレベーター・自動ドア等の保守管理費、清掃・警備委託費等で年



まちづくりの拠点として活用される旧セントル

討 論

表決の前に、提案された議案に対して、賛成か反対かの意見を表明します

(討論の主なものを掲載します。)

平成29年度一般会計補正予算議案・条例議案等について

▼反対 日本共産党鶴岡市議団

議第39号について反対する。今回の補正予算は、先端研究産業支援センターに動物実験用飼育施設を建設するもので、バイオ研究に対する支援の増加である。

▼賛成 新政クラブ

松ヶ岡開墾場内の駐車場及び通路整備は、今般、日本遺産に認定されたことによる観光客の受け入れや交流人口の拡大に寄与するものと大いに期待する。月山八合目公衆トイレ改修や、鶴岡公園内堀周辺道路修景計画策定業務委託は、本市観光の柱である日本遺産の出力、羽三山、街中観光に関わる整備事業であり、また、日本遺産の魅力発信等に係る経費は、インバウンドも含めた観光振興、地域活性化に大いに資するものと考ええる。県の産地パワーアップ事業に係る補助金の増額は、農産物の高品質・低コスト化、産地の維持・拡大、競争力の強化により地域の振興に資するものと思う。先端研究産業支援センターラボ棟整備による動物実験は、関係法令及び指針により、動物、人間、周辺環境などの面から遵守事項を規定しているという点であり、入居者が遵守に努めるほか、市も遵守の徹底を求めるとのことである。慶應先端研究及びベンチャー企業による研究技術を促進し、更なる企業との共同研究や成果の事業化を図るためには、本施設整備は必要と考える。

鶴岡市文化会館改築工事請負契約の一部変更について

▼反対 日本共産党鶴岡市議団

大震災後の建設需要の高まりによる経費急増や労務単価の上昇時と比べ、現在は物価が安定し、デフレ状態であり、今回のインフレスライド額の業者の申出額が妥当なのか、市当局の精査が十分行われたのか疑問が残る。改築事業全体が、市民への情報提供不足、市民の意見反映のシステム不足であり、これが問題の根本原因である。市民から愛着を持って活用されるためには、十分なコミュニケーションが最も大切であり、納得できる回答がない限り同意できない。

▼賛成 政友公明クラブ

建設にあたって多くの議論があったことは承知しているが、完成目前の現時点において、建設中止や中断を求める声は皆無であり、今はむしろ、芸術文化の中心拠点を早く完成してもらいたいという声が強制的であると考えられる。市が、合併特例債等を活用して実質負担を29億円余に抑えた努力は、評価しなければならない。この金額での契約変更は現段階で反対することは、いたずらに市政の混乱を招くことにつながり、早期完成を望む民意にも反することになる。

▼反対 市民クラブ

約款に基づくインフレスライドは理解できるが、工事の変更による増額の契約には賛同できない。契約後に後年度負担などの理由を加えて増額することを認めては、そもそも問題があったとしても事業を進めることができず、工場の進め方、手続きに不備がある。工事を行う場合、様々な条件等により設計変更等が行われることは多々あり、それを否定するものではないが、今回はその説明や手続きについて不備があり、このような前例を残すべきではない。

▼反対 無所属

今回の変更内容は、市民への情報共有が不足しており、納得が得られていないか疑問である。市民への説明が不十分なまま現在地への全面改築を決定したり、整備基本計画で1,200席程度となっていた客席数を1,120席(※)に設計変更するなど、いわばブラックボックスの中での意思決定を繰り返してきた経緯がある。市民との対話のプロセスを踏み、納得がなかったらの変更契約になっていないからこそ問題が深い。対話、情報共有、協働を重視する事を望む。

しかし、本市では実験施設における市への報告や監視も予定されていない。動物実験の結果が、解剖学的、生理学的、病理学的に大きな違いがある人間にどう適合するのか、その説明は不十分である。日本に法的規制がない状態で、本市が自由に動物実験のできる地域になることには賛成できない。

動物実験は、関係法令及び指針により、動物、人間、周辺環境などの面から遵守事項を規定しているという点であり、入居者が遵守に努めるほか、市も遵守の徹底を求めるとのことである。慶應先端研究及びベンチャー企業による研究技術を促進し、更なる企業との共同研究や成果の事業化を図るためには、本施設整備は必要と考える。

※座席数は、固定席1,120席、多目的鑑賞席15席の計1,135席

一般質問

市政全般について
考え方や方針などを
市当局に質問します

(総括質問を行った議員を除く20人の
質問を掲載し、執筆は質問をした議員
本人です。)



富樫 正毅
議員

高齢社会の実現へ 「認知症対策」

議員 認知症は、高齢になるほど発症が増える、誰にでも起こり得る身近な病気である。本市の認知症患者数の状況は、健康福祉部長 平成29年4月現在、認知症状があり要介護認定された方は、5,948人となっている。高齢者人口や有病率から認知症患者を推計すると7,400人、認知症の前段階とされる軽度認知障害も加えると、約12,000人になる。

議員 早期受診が大事であるが、受診に至らなかったケースに対しては、アウトリーチ(※1)が

必要ではないか。

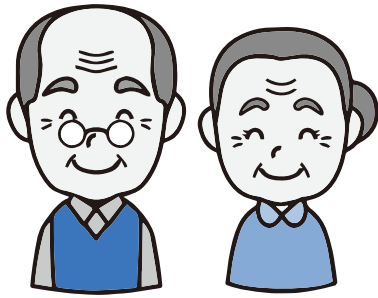
健康福祉部長 早期の診断が極めて大切である。どう対応していくかについて取り組みを確立させていきたい。

議員 認知症ケアパスは、適切な時に適切なケアを統合的に提供するための道筋を示すものである。ケアパス策定状況と市民への普及活動は。

健康福祉部長 27年に認知症ケアパスのためのガイドブックを作成し、相談の際に活用しているが、今後はガイドブックの内容の更新とあわせて、市民への普及方法についても検討したい。

議員 高齢社会の中で成年後見制度をより身近なものにするためにも、取り組みを強化すべきと思われるが。

健康福祉部長 本市の状況に即した取り組みを検討したい。



秋葉 雄
議員

DMOの形成、確立を スピード感をもって推進せよ

議員 DMO(※2)の形成、確立について、具体的に例えば2市3町の枠組みとするか、鶴岡市単独でスタートするのか、本市の大枠の考え方を伺う。

商工観光部長 DMOの設立を急ぐことが重要であると考えている。庄内地域全体としては、広域的にDMOを形成する機運には達していない状況であり、鶴岡市単独で地域DMOの形成、確立を目指す方向である。

保育士の負担軽減へ

議員 保育士が不足しがちで、過重労働を強いられることが多いにもかかわらず、労働環境の整備が遅れている。保育士の負担を軽減し、離職防止を図るため、保育補助者雇上強化事業に取り組んではどうか。

健康福祉部長 質の高い保育の提供のため、各保育所等において基準以上の保育士を確保しており、職員の産休、育休などさらに保育士の確保を要する場

合もあるが、求人を出しても応募がないという声も聞く。当該事業の実施希望を伺いながら予算の確保について検討したい。

公営住宅退去の際の原状回復は

議員 公営住宅退去の際の原状回復の負担を求めないといった取り扱いはできないか。

建設部長 民法の改正内容を確認しながら、国、県の動向を注視し、検討、対応していく。



市営住宅



岡村 正博
議員

都市計画道路 北大山公園線の整備は

議員 北大山公園線の整備について、当局の認識を伺う。

建設部長 北大山公園線は、地域の生活道路のほか、周辺施設等へのアクセス道路、鶴岡五中の通学路としての位置づけなど、道路機能も重要な役割を担っていることから、この道路の必要性は十分認識している。

しかしながら、この道路整備を進めるにあたっては、都市計画道路全体の整備の優先順位や事業費の確保など、様々な課題もあり、現在のところ直ちに事業着手することは難しい状況にあるので、整備については、もう少し長い視点で検討させていただきたい。

サッカー専用スタジアムの整備は

議員 サッカー専用スタジアムの整備について、今後どのような活動を展開するのか。

教育長 今後の本市の対応としては、関係団体とともに協議しながら、継続して県営による専用スタジアムの整備を要望していくものの、昨年11月に県に対して鶴岡病院跡地の取得依頼をしているところでもあり、サッカー専用スタジアムということにこだわらず、市民ニーズが高

※1 アウトリーチ…援助が必要な人に対して、公共機関等が訪問指導などを行い、支援の実現をめざすこと。
※2 DMO…アスティネーション・マネジメント(またはマーケティング)機関。様々な地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくり、情報発信、効果的なマーケティングなどを地域が主体となって行う観光推進主体

いと思われる人工芝サッカー場の整備を十分に検討し、実現に向けて整備推進を図りたい。



菅原 一浩
議員

鶴岡市重要事業要望におけるインフラ整備の進捗状況は

議員 日沿道新潟県境区間の今後の整備見通しについて伺う。

建設部長 今年度は調査・設計及び用地買収手続が引き続き進められるほか、全長約1kmの大岩川トンネル工事が今年度末

までには発注される予定である。新潟県境区間の総事業費は、約

1,900億円の見込みであるが、新潟県側と合わせて、これまで計143億3千万円が予算

化されている。国の公共事業費が厳しい中、新規事業化された

改築系事業としては、各年度の予算についても事業進捗に合わせ大幅な増加傾向となっている。

議員 羽越本線の新潟駅における新幹線への同一ホーム乗換え

に関する工事の進捗状況は。

企画部長 工事が順調に進捗していることから、これまで平成30年度内であった第一期開業

予定との情報を得ている。
議員 庄内空港滑走路延長についての見通しを伺う。
企画部長 滑走路延長については国の事業採択を受けるためには年間50万人以上の需要見込みと大型機就航の見込み、十分な費用対効果の検証が求められる。庄内空港利用振興協議会では、29年3月に「庄内空港の利便性向上に向けた当面の取り組み」を定め、その中で30年の年間搭乗者40万人達成を当面の目標に掲げ、利用促進に努めているところである。



五十嵐 一彦
議員

鶴岡ツーリズムと食文化推進事業との連携は

議員 イタリア食科学大学が行った2月、5月のフィールドスタデイの内容について伺う。

商工観光部長 フィールドスタデイでは、主に羽三山の精神文化に触れ精進料理を経験する

とともに、給食センターで食育、酒蔵で発酵技術を学んだ。また、

朝日地域ではマタギ文化、温海地域では山戸能と山五十川歌舞伎の鑑賞など、その地域ならで



港の安全を守る灯台

はの体験を通じ、内容の濃いプログラムを実施した。
議員 欧米からのインバウンドは長期滞在になり、温泉旅館との連携が不可欠。今後の展望は。
商工観光部長 インバウンドの有力な受け皿である温泉旅館は、食事や温泉、おもてなしなど、外国人が日本文化や風情を一番感じられる施設でもあるので、連携を強化し、今後とも鶴岡農工商連携総合推進協議会の構成団体や体験プログラム等の実践団体と連携し、観光誘客に努めていく。

港湾の安全管理は

議員 海上保安庁では灯台の見直しを進めているが、本市への影響は。

建設部長 必要性が低下した灯台382基について10か年で廃止を進めるとされ、鼠ヶ関港の灯台1基が対象とされた。市では今後の動向に注視し、必要な灯台の維持、整備について要請を検討していく。



尾形 昌彦
議員

運転免許返納者等への支援は

議員 運転免許証返納高齢者等に対する具体的な支援施策の検討状況は。

企画部長 免許返納者には、運転免許経歴証明書発行手数料への補助や路線バス利用への転換を促す目的で返納者に対する一定期間の特典と、その後の継続的な支援制度を新たに創設する。

高齢者全体への支援策としては、満70歳以上を対象に高齢者専用割引定期券購入の助成拡充と定期券保有者の市営バス等利用時の使用料減免を検討している。

屋内遊戯施設と屋内多目的運動場の整備は

議員 屋内遊戯施設と屋内多目的運動場の整備計画の詳細は。
健康福祉部長 ヤマガタデザイン



ン社が整備する子育て支援施設の中に、屋内遊戯施設が含まれており、延べ床面積2,000㎡のドーム型施設である。遊び場は自然界を表現した床の起伏がベースとなり、体を思いきり動かして、自由な発想で遊べ、また、屋内外を自由に行き来できる仕組みとなる。来年度以降の供用開始を目指している。

教育長 大山工業団地内に整備する屋内多目的運動場は、フットサル、テニス、グラウンドゴルフ等の練習の場で、床面積はテニスコート3×4面を想定しており、毛足の短い人工芝コートを整備したい。32年度中の供用開始を目指したい。



小野寺 佳克
議員

冠水被害対策と実施状況は

議員 平成25年7月の豪雨に

よる市街地の冠水被害と対策、その実施状況、被害軽減の取り組みについて伺う。

建設部長 平成25年7月の集中豪雨は、1時間当たりの降雨量が64・5ミリを記録した。大山、海老島町、新斎部、日出、末広町などで床上・床下浸水が発生し、道路冠水は市街地全体で58か所となった。

原因究明調査により、局所的対策の箇所と面的に排水系統の検討や排水断面の見直しをする箇所に区分して計画を策定し、対策を講じることとした。

大山第2排水区は、25年度から着手し、今年度末まで約91%の進捗で、来年度完了予定である。日枝第3排水区は、26年度から着手し、約65%の進捗で、31年度完了見込みである。茅原第1排水区は27年度から着手し、今年度末まで約95%の進捗で、32年度の完成予定だが、赤川に排水樋門ひんもんを設ける計画になっている。新斎部排水区は、今年度から着手し、32年度の完成を目指している。また、今年度から新たに宝田一丁目の道形排水区の現況調査を予定しており、対策に向け検討を行う。

被害軽減の取り組みについて、鶴岡市樋門水門管理協議会を今

年度設置し、内川、新内川の樋門・水門の迅速な開閉操作を行い、水路や堰せきの水位を下げる体制を構築した。その検証を踏まえ、他の河川についても検討する。



佐藤 久樹
議員

市の玄関口 鶴岡駅前を元気に

議員 JR豪華列車の運行開始、新潟県と連携したDC(※)開催が決定するなど、本市観光産業への期待も高まる中、いよいよ駅前に「フーデエヴァー」がオープンする。詳細を伺う。



7月1日、オープンで賑わうFOODEVER

企画部長 駅前という立地を生かし、観光客をはじめ多くの方に鶴岡ならではの食文化や観光情報を提供し、駅前全体の賑わい創出を目的とする施設である。

民間による店舗として、本市出身の食の都庄内親善大使らの郷土料理店やイタリアンの店舗、フードコートでは、そばや麦きり、日本酒・ワインの店舗等、物産・飲食に関する店舗がオープンする。また、市ではインバウンド観光に対応可能な観光案内所の設置、食文化や観光情報の高画質映像による紹介のほか、文化体験スペースを整備し、様々なイベントを企画する。

元気な高齢者への仕事斡旋を

議員 団塊世代の中には、生活苦改善のため再就職を望む声が多くある。特殊な資格・免許等を所有している方も多く、この世代が仕事を心得、安心して暮らせるための取り組みを伺う。

商工観光部長 ハローワークでは、生涯現役支援窓口を設置し、シニア世代の再就職支援をしているが、県内には山形市にしかないため、設置拡大を働きかけたい。また、市のワークサポートルームでは、内職相談や適切な就職相談先を案内している。



本間 信一
議員

農業産出額300億円達成に向けての取り組みは

議員 農業産出額の推移は、**農林水産部長** 昭和60年の457億円をピークに平成27年は283億円である。野菜部門は平成17年は53億円、27年は96億円と順調に増加している。

議員 農業産出額300億円を目指す意図は何か。

農林水産部長 10年ぶりに国が公表を再開したが、26、27年は全国32位、県内トップで東北では4位であった。本市農業振興の具体的かつ実現可能目標を300億円とし、目標を掲げることで生産振興の励みになる。

議員 目標達成への取り組みは。

農林水産部長 今後5年間で目標達成を目指している。300億円を達成すれば全国25位前後となる見込みであり、30位以内が公表されるため、農業を基幹とする食糧産地として知名度の向上につながり、国内外に誇れる地位を確保できると考える。

26、27年度は、米部門は東北2位、野菜部門は東北1位であり、



全国メロンサミットin鶴岡

両部門で産出額の8割弱を占める。目標達成には両部門の安定が不可欠である。米部門は全国規模の需給調整がカギを握っている。野菜部門は、主力の枝豆に加えてネギやトマト、メロンの販売額も順調に上昇している。JA庄内たがわでは園芸販売額40億円、JA鶴岡では総販売額100億円を目指しており、園芸作物の拡大に、県やJA等と一緒に取り組んでいく。



本間新兵衛
議員

バイオ関連産業の集積を

議員 バイオサイエンスパークの拡充の方向性について伺う。

※DC…デスティネーションキャンペーンの略。自治体と地域の観光事業者がJRグループと連携し、全国からの誘客を目指す大型観光キャンペーン

企画部長 現在のバイオサイエンスパーク21・5haには、新たな研究機関、事業者等の進出が難しい状況になっており、拡張を含めた新たな構想作りが必要と考えている。市全体の発展の方向性にも大きく関わることから、平成30年度まで策定する次期総合計画に反映させる。

橋梁の安全対策の推進を

議員 橋梁点検に基づく対策の現況と課題について伺う。

建設部長 昨年度までに、市が管理する840橋のうち371橋の点検診断を実施し、今年も183橋予定している。50橋が早期措置が必要な橋梁であり、今年度は16橋の事業を実施する予定である。財源確保の面から予防保全の対策に至っていないことや、修繕か、架け替えかの判断は高い技術力と経験が必要であり、職員の育成も課題となっている。

議員 今年度から始まる岩川橋の新設改良工事について伺う。
建設部長 今年度は詳細設計と用地調査を行い、来年度から架け替え工事を3か年程度で行う。
議員 歩道の設置、庄内小国川の浚渫、工事中の地域住民の安全対策、漁業生産組合の鮭の採



架け替え工事が行われる岩川橋（大岩川地内）



五十嵐庄一
議員

日沿道県境区間インターチェンジ周辺土地利用基本計画は

議員 高速道路から「道の駅」へのアクセス形状について伺う。
建設部長 敷地の制約や複雑な形状により逆にアクセス性が低下するなど、利便性が向上しな

いことから、上下線直接乗り入れは困難であると判断した。国が計画するランプ形状を前提条件に、下りランプからの専用道路の追加設置について、制度的技術的可能性を検討している。
議員 道の駅、地域振興計画について伺う。

建設部長 人を呼べる持続可能な施設としていくためには、高いプロデュース能力を有した組織としていく必要があり、昨年度に引き続き、道の駅プロデュースで全国的に活躍している方からの指導を受けながら、地域と話し合いを進めていきたい。

議員 検討委員会の今後の取り組みと進め方については。
建設部長 地域、市民、関係団体から意見を頂く機会が必要と考え、改めて委員会的なものを設けていくことで検討していく。

国道345号平沢～関川間の改良整備は

議員 国道345号、平沢～関川間の改良整備の方向性は。
建設部長 改良整備は沿線住民の切なる願いである。生活道路、基幹的広域道路ネットワークの多重化に欠かせない重要路線であり優先的整備路線である。これまで以上に県へ要望していく。

議員 シルクなど伝統的な産業資源を生かし地域に仕事を増やす「しごとの創生」を伺う。
企画部長 日本遺産の認定を受けたこともあり、シルク産業の自立化・産業化に向け、商品開発、発信力強化、戦略的な販路開拓を後押ししていく。



改良整備が望まれる
国道345号 平沢～関川間



佐藤 博幸
議員

まち・ひと・しごと創生総合戦略仕事をつくる「しごとの創生」は

議員 シルクなど伝統的な産業資源を生かし地域に仕事を増やす「しごとの創生」を伺う。
企画部長 日本遺産の認定を受けたこともあり、シルク産業の自立化・産業化に向け、商品開発、発信力強化、戦略的な販路開拓を後押ししていく。

新しい人の流れ「ひとの創生」は

議員 高校・大学卒業生等の地元就職・地元回帰・地元定着を促進する「ひとの創生」を伺う。
企画部長 地元企業の情報提供・情報発信、地元を離れた若者と企業との懇談、移住ではコ

ーディネーターを配置し、企業、関係機関との連携を密に進める。
地域をつくる「まちの創生」は

議員 地域と安心を守るコミュニティビジネス、小さな拠点づくり「まちの創生」を伺う。

企画部長 大網地区をモデルに小さな拠点づくりを進めており、県地域再生計画に相乗り申請し、運営組織の形成・人材育成など課題解決型コミュニティ構築を中長期的に支援していく。

議員 今ある産業資源・人的資源等あらゆるものを合わせて活性化していくことが求められている。今後の取り組みを伺う。



加藤 鏡一
議員

マイナス・シーリングの問題は

議員 予算編成におけるシーリングの設定とその役割はどうか。
総務部長 過去10年間の状況は、消費税増税を考慮し、ゼロ・シーリングとした26年度を除き、

1・5～5%の範囲でマイナス・シーリングを実施してきた。

予算要求時に一定の上限を設けることにより歳出の無制限な増大を抑え、優先度や重要度、必要性等が十分検討される。

議員 バイオなど「聖域」とされる予算や政策的予算を確保するために、他の経費をマイナス・シーリングしてきたのではないかと。住民と密接に結びついている担当課では、住民からの切実な要望をすぐに予算要求できない。これがシーリングの問題ではないか。

総務部長 市はシーリングを通じて施策の分析、検証、企画を行い、その結果として、社会状況などの変化に即応した適切な事業の見直しなどを行っている。

地域分権にもう一步ではないか

議員 地域自治区制度など地域分権が制度として拡がりを見せつつある。本市では、住民自治組織や総合交付金制度、地域コミュニティ施策、地域振興計画と地域振興予算等が取り組まれ、制度としての地域分権にもう一步と迫っているのではないかと。

市民部長 地域コミュニティの維持、活性化は重要課題であり、地域分権なども参考にしながら

進めていきたい。



菅井 巖
議員

上郷地区大荒地内、ごみ最終処分場整備事業は、住民合意を

議員 大荒地内、ごみ最終処分場整備事業について考える「市民の会」が結成され、候補地取り下げと、他の候補地7か所の再考を求めて署名活動が取り組まれ、1、600人の署名が提出された。市民や関係者の願いは、どのように市長に伝わっているか。市長は直接、市民や関係者の声を聞き対話する考えはないのか。

市民部長 提出された申入書や署名については、市長への報告や関係部局との情報共有を行い、真摯に受け止めており、今後市民部が中心となって対応する。

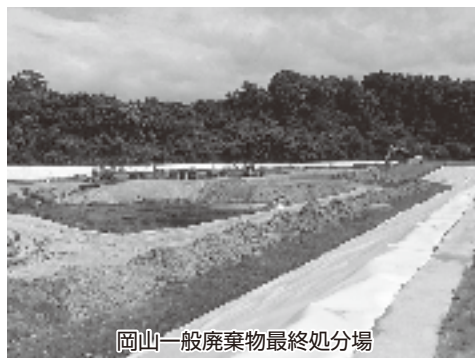
議員 地域住民、流域農家、特に地元を二分し、自治会として協議できない状態を課題として捉えているのか。

市民部長 大荒自治会には数回の説明会を実施し、戸別訪問による意向調査も実施している。上郷自治振興会、地権者、土地改良区等への説明会も実施する

中で、一部にご理解いただけない方もいらっしゃる。そうしたことを課題として捉え、今後も施設の必要性、安全性などについて継続して説明を行いたい。

議員 署名した方々へ個別に対応するのか。

市民部長 人数が多いので個別対応は不可能だと考えている。4月から15集落を対象に説明会を行っている。今後も、より丁寧に説明し、合意をいただけるように努めたいと考えている。



岡山一般廃棄物最終処分場



加賀山 茂
議員

将来の農業構想は

議員 農業の将来には大きな期待を寄せている一方、懸念され

る問題や課題が秘められている。注目すべき世界の人口動態、気候変動、用途変えによる農地の減少等、地球規模で将来の食料事情が心配される。日本は、自給率を高め、自給型農業政策を推進するべきと思う。家畜農家がどうなるのかなど、TPP問題は日本農業の根幹に関わる大問題だ。このようなことから、国や県の動向を見極め、鶴岡市独自の特色ある農業政策を探索する必要があると思うが。

農林水産部長 本市の農業は、米を中心とした水田農業が主体となることは将来的にも揺るぎないものである。ブランド米と業務用米の二極化する需要にしっかりと対応した鶴岡産米の生産を進めていく。また、農地集積や集約、法人化、圃場整備による大区画化、機械化等の実施により徹底した生産の効率化を図り、コスト削減を進める。

水田をフルに活用した枝豆等の園芸品目の振興による複合経営を確立させることで、体力のある産地をつくり上げたい。

さらに、ユネスコ食文化創造都市として、農林水産業を単に食料供給という狭い範囲にとどめず、文化的要素を生かし、観光等の様々な分野と連携した新



農作業の様子



今野美奈子
議員

日本遺産認定 松ヶ岡開墾場の発展のために

議員 松ヶ岡開墾場の今後の展望について、基本方針を伺う。

企画部長 日本遺産に係る地域活性化計画に基づき、普及啓発人材育成、情報発信、環境整備などについて、今後発足する推進協議会で検討、実施することになる。松ヶ岡開墾場は国指定史跡となっており、日本遺産の計画との整合性を図りながら、今後、保存活用計画の改定を進めていく。

多様な人材を生かす

人選のあり方は

議員 市の施策に関わる一般市民とつくる会合、委員会においては、男性ばかりであっても主催側が気づかないことがある。また、若い方の参加を促すのに、時間の配慮がなされないことがあるなど、性別や年齢バランスを欠く実態が見受けられる。会へ参加する男女、年齢のバランス基準を伺う。

総務部長 市の審議会等の委員の平均女性率の目標を30%にしている。平成21年度末で19・1%であったが、28年度末で22・4%と改善を図っている。今後の各種審議会等の委員選出にあたり、女性や若い方の意見が十分生かされるように、人選にあたっては配慮していく必要があると考えている。



石井 清則
議員

文化会館、維持管理費の見込額は

議員 文化会館完成後、維持管理・運営・解体までの見込額は、建設部長 修繕・改修に80億円、運用・管理に年1億4千万円が



8月竣工予定の新文化会館（夕夕ト鶴岡）

60年で84億円、解体に2億5千万円で、約170億円程度だが、条件によりかなり変わってくる。議員 ライフサイクルコストは、建設費の4〜5倍とされているものが多い。そこから建設費を引いて試算すると、255億〜340億円になるのでは。

建設部長 耐久性の高い材料や省エネなどにより低減が図られるので、現時点で論じることではない。具体的なメンテナンスなどは、竣工に向けマニュアルに合わせて作成していきたい。

文化会館、壁の「出来栄え」は

議員 壁がへこんでいる。検査項目に「出来栄え」があるが現状のまま検査した場合の評価は、建設部長 完成検査は基準に基づき検査員が行うので、その結果となる。工事担当課としては、材料と施工方法の特性であり、不良や欠陥ではないと考えているが、改めて確認し、必要な手直しは行っていただく。

月山八合目トイレ、来年改修へ

議員 月山八合目のトイレは、関係者の要望が実り、設計が予定されている。今後の予定は、羽黒庁舎支所長 地理的に長い工期を確保できない実情もあり、工事の工程や仮設計画などを十分検討し、来年度改修したい。



渡辺 洋井
議員

サイエンスパーク研究機関・企業の安全管理体制をより強固に

議員 サイエンスパークにおける安全管理に対する市のチェック体制は、他の先進自治体と比べて甚だ不十分である。茨木市では環境保全計画案を市長と協

議するとともに、住民説明会を義務づけ、吹田市では条例を制定し、市民への情報発信を義務づけている。完全な安全管理は、市民の安心と信頼だけでなく、より良い研究のためにも必要だと思うが、見解を伺う。

企画部長 事業者が設置する安全委員会の設置や活動等に関する情報は受けている。実験による廃液等は完全に殺菌処理して処理業者に委託、廃棄している。覚書、協定書は全て関係者と締結しており、安全管理については特に課題はないと考えている。

中学生ピロリ除菌の薬剤選定は

議員 ピロリ除菌剤に関して小児に対する安全性が確立されていない中での使用となる中学生胃がん予防事業がスタートした。これまでの経過と、大人の二次除菌に使うメトロニダゾールに決めた経緯と今後の取り組みは、健康福祉部長 一次検査同意率は70・8%で、協力医療機関は17か所である。中学生への一次除菌薬の成功率は約70%に対し、二次除菌薬の成功率は95%以上と高く、副作用も軽微な下痢のみとの実態を踏まえ医師会の倫理委員会で決定した。今後毎年行う予定で情報開示も行う。



田中 宏
議員

新文化会館運営への市民参加は

議員 新文化会館の情報発信を担う市民記者や場内整理等を行う市民サポーターの募集と、今後の市民協働の方向性は、

教育部長 市民目線の情報発信は重要であり、高校生等のSNS発信にも期待している。また、観客誘導等には市民サポーターの協力が必要なため、12月の避難訓練コンサートに向けて募集・育成したい。市民の事業案実現のため、公的助成金情報の提供、獲得への助言を行うなど、市民協働での事業展開を念頭に置いた管理運営をしていきたい。



ユニバーサルな学校教育を

議員 小中学校でのICT（情報通信技術）活用教育の成果と、教員のICT活用力向上への方策は。

教育長 成果として、視覚に訴えるため、特別な支援を要する児童も含め、わかりやすい授業の実現や思考を深める時間を増やすのに有効である。モデル校の「あさひ小学校」で先進的な実践を行うとともに、リーダー研修員18人の研究成果を各校に普及させたい。デジタル教科書は小5・6年生の算数、中学校数学、中1の英語に導入した。

市職員のメール環境の改善を

議員 市職員とのメール送受信に支障が出ている。改善策は。

企画部長 個人のアカウントは、100MB、課等は200MBで運用している。業務上必要な職員には容量を追加したい。



今野 良和
議員

名誉市民推戴の考えは

議員 過去の議会で、「名誉市民の称号を贈るにふさわしい方

がおられると思うが」と質問している。改めて現在の当局の見解について伺いたい。

総務部長 名誉市民の推戴は、郷土に対する愛情や誇りの醸成にもつながると考えられることから、市民の各層の方々が認め、推戴するにふさわしいという機運の高まりも見極めながら、時宜を逸することなく対応していくことが基本姿勢と考えている。

旧アマゾン民族館の再活用を

議員 現在閉館中の同館の資料は世界的にも貴重だ。この資料を撤去させるのではなく、今後、インバウンドや国際交流が進む中で、資料を守り現展示施設を再び活用し、地域の活性化に活用すべきと思うが見解は。

企画部長 これまでの経過と現在の考え方を踏まえると、来年3月までに資料を撤収する方向で進めていくことになる。現在、所有者は、基金を立ち上げて新たな博物館の設立に向けた募金活動を開始しており、この活動を含めて情報収集を行い、今後とも所有者から随時お話を伺い、その動向を把握しながら、丁寧な対応に努めていきたい。



第1回市議会モニター会議を開催

鶴岡市議会では、市民のご意見を広く聴取し、議会運営等に反映させるため、今年度から「市議会モニター制度」を実施しております。公募及び各地域の自治組織からの推薦により決定した、17人の市議会モニターの方々へ、市議会の概要やモニターの役割を説明するモニター会議を、6月2日に開催しました。

会議の中では、本会議のインターネット中継や録画データの視聴に関する事、傍聴の際の手続き等について質問がありました。また、モニターの職務について、注視する点や提出する意見の内容といった、具体的な役割等について、広報広聴委員を交えて活発な意見交換が行われました。

市議会モニターの方々から提出されたご意見については、関係する委員会等で検討し、議会運営等に反映していきます。



モニター会議の様子



会議後、議場を見学

6月定例会にモニターから寄せられたご意見（一部抜粋）

- ・初日の総括質問では、なるほどと思う提案もあったが、再質問がなかったため議論の深まりがない。一般質問のように再質問があった方がより建設的で内容のある議論ができるのでは。
- ・傍聴者への配布資料について、提案説明の概要がわかるものがあると良い。



9月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
8/27	28	29 本会議 (開会・総括質問)	30	31 本会議 (一般質問)	9/1 本会議 (一般質問) 議会運営委員会	2
3	4 本会議 (一般質問)	5 決算特別委員会 予算特別委員会	6 総務 常任委員会	7 市民文教 常任委員会	8 厚生 常任委員会	9
10	11 産業建設 常任委員会	12 委員会予備日	13 委員会予備日	14	15 議会運営委員会	16
17	18 (敬老の日)	19 決算特別委員会 予算特別委員会	20 本会議 (表決・閉会)	21	22	23 (秋分の日)
24	25	26	27	請願・陳情 提出期限 8月23日(水)午後1時		

※各会議の開会時刻は午前10時です。
午後にわたる場合は1時間程度の休憩をはさみ再開します。
※日程は変更される場合がありますので、ご了承ください。

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴するには

- ◆「本会議」は議場の傍聴席で傍聴できます。本所4階ロビーに傍聴の受付があります。傍聴の定員は64人です。
- ◆「委員会」は各会議室で傍聴できます。本所2階の議会事務局で傍聴の受付を行っています。傍聴の定員は5〜20人です。※団体で傍聴する場合は、あらかじめ議会事務局までご連絡をお願いします。
- ◆「本会議」は本所及び各庁舎市民ロビーでのテレビモニター中継や、インターネットでの中継及び録画放送でも視聴できます。

議会傍聴アンケート

6月定例会を傍聴された方から寄せられたご意見・ご感想(一部抜粋)を紹介します。

- ・初めて傍聴したが、鶴岡には良い所がたくさんあると感じた。
- ・様々な意見があつて、鶴岡も日々変化していると思った。
- ・各部長の答弁が聞き取りにくいいため、伝え方の改善を期待する。

議会の会議録を閲覧するには



傍聴の様子
鶴岡市立荘内看護専門学校の皆さん

◆本所及び各庁舎の市民ロビー、鶴岡地域の各コミセン、図書館本館において、会議録が閲覧できます。
◆インターネットで会議録の閲覧・検索ができます。鶴岡市議会のホームページをご覧ください。

編集後記



つるおか市議会だよりは、平成17年12月に創刊し、今号で第50号の節目を迎えました。鶴岡市議会では今年度から、市民のご意見を議会運営や議会だよりに反映させる、「市議会モニター制度」を導入しました。第50号の節目となる今号がモニターの方からご意見をいただく最初の議会だよりとなります。

今後は、議案審議の状況等を正確にお伝えすることはもとより、モニターをはじめ皆様のご意見を紙面に反映させ、「見やすく」「分かりやすい」議会だより、「伝える議会だより」から「伝わる議会だより」へと高められるよう鋭意努力してまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

広報広聴委員長

富樫 正毅

発行/鶴岡市議会 編集/広報広聴委員会

〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町9-25
電話 0235-25-2111 FAX 0235-25-2123
メールアドレス gikai@city.tsuruoka.lg.jp

